

## 様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 5 日

奈良県知事 殿

## 提出者

住 所 奈良県吉野郡吉野町香束5番地

氏 名 株式会社サンコーレミック 代表取締役 徳本 浩

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0746-35-9035

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 サンコーレミック
事業場の所在地	奈良県吉野郡吉野町香束5番地
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	E21 窯業・土木製品製造業務
② 事業の規模	生コンクリート製造販売売上高 43145万円
③ 従業員数	9人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	(戻りコンクリート) 再生利用可能な場合ブロックを作製し再商品化 (ミキサ洗浄残渣) 再生利用不可な戻りコンクリートと混合固化後がれき類として再生処理業者に処分を委託し再資源化

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

### (管理体制図)

公害防止統括管理者 工場長  
 ↓  
 産業廃棄物関係管理責任者 技術課長  
 ↓  
 産業廃棄物処理係 製造係

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】	
産業廃棄物の種類	がれき類
排出量	1370 t
(これまでに実施した取組)	
廃棄物の主たる発生源が戻りコンクリートにある為、販売先に対し戻りコンクリートの減少依頼	
【目標】	
産業廃棄物の種類	がれき類
排出量	1300 t
(今後実施する予定の取組)	
引き続き販売先に戻りコンクリートの減少働きかけ	

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】			
産業廃棄物の種類	がれき類		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	260	t	t
①現状 (これまでに実施した取組)			
再生利用可能な戻りコンクリートのブロック作製による商品化			
【目標】			
産業廃棄物の種類	がれき類		
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	300	t	t
②計画 (今後実施する予定の取組)			
再利用率の向上による廃棄物の減少化			

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 年度）実績】			
産業廃棄物の種類			
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t
①現状 (これまでに実施した取組)			
【目標】			
産業廃棄物の種類			
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t	t
②計画 (今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和 年度）実績】	
産業廃棄物の種類	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
①現状	(これまでに実施した取組)
【目標】	
産業廃棄物の種類	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
②計画	(今後実施する予定の取組)

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】	
産業廃棄物の種類	がれき類
全処理委託量	1110 t
優良認定処理業者への処理委託量	t
再生利用業者への処理委託量	1110 t
認定熱回収業者への処理委託量	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
①現状	(これまでに実施した取組)
中間処理事業者への処理委託による廃棄物の再資源化	

【目標】	
産業廃棄物の種類	がれき類
全処理委託量	1000 t
優良認定処理業者への処理委託量	t
再生利用業者への処理委託量	1000 t
認定熱回収業者への処理委託量	300 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
②計画 (今後実施する予定の取組)  廃棄物再利用化の向上による再生処理委託量の減少化	
※事務処理欄	